



村井氏



古武所長



谷村社長



谷村会長

「第2回安全推進大会」を開催
120人が集い、労働安全誓う

東京都のMグレードファブ、谷村製作所(本社・東

京都墨田区、谷村朋昭社長)は6月30日、東京都江戸川区の古田士会計事務所

約120人を集めて「第2回安全推進大会」を開いた。

安全推進大会は同社の受注物件の大型化と増大に伴い、協力会社を含めた全体的な労働災害防止への意識向上と相互間のコミュニケーションの強化を図るために行われているもので、昨年

最初に同社の谷村忠行会長が自身の入社当時から現在に至るまでの会社の規模と社員数の変化や今後の設備投資の計画を説明した上で、「日々のKY活動、作業手順書の確認など災害防止へ全社的に取り組んでいきたい。当然のことだが、尊い命を失う意味は、企業もそうだが、家族の立場で

考えるダメージは計り知れないものがある。くれぐれも事故を起こさないよう、細心の注意を払って仕事をしたい」と述べた。

基調講演ではフジタ東京支店建築工事事部・千住一丁目PJ作業書の古武清所長が自ら関わった物件の紹介と、現在携わっている千住一丁目地区市街地再開発事業の工事の概要のほか、同作業所における安全衛生管理方針、災害防止(5つの強化)の実施、職長会活動などを紹介した。



約120人が集い、無事故・無災害を誓う

◆谷村製作所(東京)◆ 「第2回安全推進大会」を開催 120人が集い、労働安全誓う

補償や安全配慮義務なども紹介しながら無事故・無災害の達成を呼びかけた。

引き続き、労働安全コンサルタントの村井健一氏が「労働災害の発生抑止と事業者責任と法規制」をテーマに講演した。村井氏は建設業における死者数統計に基づき年齢別や下請け別の割合を紹介。また、実際の災害事例の再現DVDの放映などを通じて事業者責任のほか、法令の大別、労働基準法と労働安全衛生法等の法規制などを解説した。

さらに、安全管理のPDCA、墜落事故の予防と防止について述べた後、企業としてすべきこととして①利益の追求(社員、協力会社従業員の生活を守る義務)②品質の追求(高く売れる商品を作らなければならない)③作業環境の整備(現場労働者が安心して働ける安全な職場環境を提供しなければならない)④人材の育成(上記すべてを生産の場である現場で実現できる人材を育てることが求められる)——と総括した。

谷村社長はあいさつで「当社は客先から6月25日

全員で「安全は正しい手順の積み重ね、基本を守ってゼロ災職場」を唱和し、無事故・無災害を誓った。

